



小林 立栄 議員 (無党派)

一括質問方式

子育て支援の充実を

問.....

子育て家庭が、買い物や施設利用時に料金の割引や特典を受ける事ができる優遇サービスを、市内の事業者との協賛で行ってはどうか。子育てを地域全体で盛り上げる事が大切だと考えるが。

答.....

県では、いわて子育て応援「i・ファミリ1サービス事業」を実施している。市民へ更に周知するとともに、

子育てを応援する事業者が増えていくよう、県と連携を図っていく。市の施策としては「わらすつこ応援券」を保護者に交付している。今後も市民総参加のもとに、子育てを応援する気風と土壌をつくっていく。

問.....

授乳室、おむつ替えシートがあるトイレ、ベビーカーでも移動しやすい歩道の整備など、子育てが地域1を進め、親子が地域

答.....

ニーズを把握し、きめ細かく対応したい。市役所西館に「元氣わらすつこセンター」を開設し、わらすつこルームを開放している。子育て支援センター「まなざし」を中心として児童館などと連携を取りながら、さらな

の方と交流できる施設を市内各所に整備をして、「子育てするなら遠野」らしい地域づくりに取り組むべきと考えるが。



子育てに優しい社会は、すべての人が暮らしやすい社会

問.....

子連れの観光客の受け入れ体制を充実させ、子育て世代の交流人口の拡大をはかり、定住へ結び付けていくべきと考えるが。

答.....

親子が安心して遠野ならではの観光を楽しんでもらえるよう、施設整備とサービスの充実に向けていきたい。



瀧本 孝一 議員 (市民クラブ)

一括質問方式

歌えますか？ 市民歌についての認識は

問.....

合併後10年目に入っているが、遠野市民歌は市民の多くが覚えづらく難しいと感じ、愛唱され浸透しているとは言いがたい。市民歌の意義や浸透度の認識は。

答.....

遠野市民歌は、平成17年10月の合併後に「遠野市シンボル等選定委員会」などを設置

し、様々な協議を経て、本市出身のプロ歌手・船越由佳さんに依頼して作ったものを市民歌として選定した。

「早池峰」「猿ヶ石」「銀河」「やまゆり」などを歌詞に散りばめ、遠野の四季をイメージして新市の永遠の輝きに願いを込めた素晴らしい市民歌であり、防災行政無線から1日2回メロディーを流すなど、かなり定着してきていると思われる。

問.....

市民に愛唱され、歌いやすい第2市民歌的なものを作る考えはないか。また、アンケート等で市民から意見を聴取し、検証の必要性はないか。

答.....

市民歌と愛唱歌とは違い、アンケートの聴取や第2市民歌を作る考えはない。

遠野らしい個性豊かな特色あふれる市民歌を、今後も市民の拠りどころとして多くの場面で普及・活用を図っていききたい。



市内各公共施設等に掲示されている市民憲章や市民歌のポスター

地域おこし協力隊の受入活用を図っては

問.....

現在、市では「緑のふるさと協力隊」を受け入れ、地域活性化を目的に活動を展開しているが、これに加え、地域おこし協力隊を受け入れ、地区センター等へ配置して活動の相乗効果を図り、移住・定住に結び付けていく考えはないか。

答.....

「緑のふるさと協力隊」は、今年度までに12人の隊員を受け入れ、地域活性化に目覚ましい活躍をしてくださいと感謝している。昨年度までの11人の隊員中6人が市内に定住し、うち3人が結婚して居住している。「地域おこし協力隊」の制度は、緑のふるさと協力隊と同様に多くの効果が期待されることから、地域活動専門員の位置付けや地区センターのあり方を含め、これらのマンパワーをどう取り込むか作業を進めている。

AEDの設置場所について

問.....

AED(自動体外式除細動器)を夜間や休日でも有効に使用できるように、市内の宿泊施設やコンビニエンスストア、タクシースタンド、民間事業者と協定を結んでほしい。

答.....

コンビニエンスストアを含めた効果的・効率的な新たな設置場所の確保は必要ではないか。AED機器や部品の更新、応急手当講習の開催等、きめ細かく取り組んでいきたい。

【その他の質問】

- SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を活用した市政情報の発信について
○ 雑誌スポンサー制度の導入について
○ 学校教育における環境教育の取組みについて